

# とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号 66-0446  
施設名 きぼう保育園  
施設所在地 葛飾区高砂 2-3-7  
法人名 社会福祉法人希望福社会

## 1. 活動のテーマ

<テーマ> 色

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)  
身近にあるもので実践しやすい

## 2. 活動スケジュール

- ・ 5月～3月朝顔を育てる
- ・ 7月夏祭り製作で牛乳パックランタンを作る
- ・ 8月水遊びで色水

## 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)

- ・ 朝顔・色水・スポイト・すりこぎ・シャンプーボトル・ミニカップ・花・牛乳パック・和紙・絵の具
- ・ ライト・プランター・本・色水保存用 R1 ボトル

室内で色水を使って遊べるようスポイトやミニカップシャンプーボトルを置いておいた。

## 4. 探究活動の実践

<活動の内容>

朝顔を育てる、色水遊び、製作

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

色水で同じ色にするために何色を混ぜたかや、〇〇に似ていると色の例えを出していた。太陽の日に当てたり懐中電灯の光に当てる姿もあった。見え方が変わることや色味の違いに気が付く様子もあった。

朝顔を育てている所から製作に持っていき葉や花を自分たちで摘み観察すると「ざらざらしている、臭い」など肌触りやおいを感じていた。冬になり朝顔が枯れると種が出来ていた。屋上で遊んでいた際に、観察していた児が種が出来ていることに気が付き、持って帰りたいと話していた。雨に濡れた後でよく乾かす必要があり部屋で干していると見に来る児もいた。屋上に行くたびに種があるかなと話す姿も見られていた。

<振り返りによって得た先生の気づき>

初めて植物を育て暑い日の水やりや、上手く咲かないものもあり育てる大変さも感じる事が出来た。ルールを守ることや一緒に使う思いやりの気持ちも育むことが出来たと感じる。日常で感じる色を作ってみる難しさもあったが何かに例えることがとても上手だった。こぼれたら拭く、洗う、片付けるなど生活においても使う動作を知ることができ、率先して手伝ってくれる児が増え、子どもたち自身も出来ることが増えた嬉しさを感じていた。

